



慶應義塾大学ビジネス・スクール

日吉珈琲株式会社 慶應義塾大学ビジネス・スクール* 2006年5月15日

平成18年3月、慶應義塾大学ビジネス・スクールでMBAを取得したM27期の仲間5人は、東急東横線の日吉駅前に日吉珈琲株式会社というベンチャービジネスを立ち上げた。日吉珈琲は、鮮度の高い有機栽培のコーヒー豆を大量に仕入れ、小口に分割して、スーパーマーケットなどの小売業者に卸していく。創業者仲間5人は、最近、健康や環境に対する意識が高まっているなか、安全性の高い高品質のコーヒー豆市場は、将来有望であると判断していた。

問題1 日吉珈琲株式会社第1期（平成18年4月1日より平成19年3月31日まで）に生じた以下の期中取引を仕訳しなさい。（日付と小書きは省略する。）

1. 創業者全員で、総額20,000,000円を出資し、日吉珈琲株式会社を設立する。出資額は全額資本金とし、払込金額は全額当座預金とした。
2. 日吉珈琲株式会社は、創業者5人を、一人年収2,000,000円で従業員として雇った。

*このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール助教授太田康広が複式簿記の演習問題として作成した。ケース中の企業は架空のものである。
(2006年5月作成)

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

3. 駅前の不動産会社を通じて、事務所、商品倉庫、駐車場の賃借契約を締結した。
2年間の契約で賃借料は、年間2,500,000円である。

5

4. 商品の搬送に使用するトラックを4,000,000円で購入し、代金は登録手数料100,000円とともに小切手を振り出して支払った。

10

5. トラック用のガソリン90,000円分を購入し、代金は小切手で支払った。

15

6. 綱島生豆店から、商品5,000,000円分を仕入れ、代金は掛とした。

20

7. 当会計年度の事務所、商品倉庫、駐車場の賃借料、2,500,000円を小切手を振り出して支払った。

25

8. スーパー元住吉に、商品を2,000,000円で売上げ、代金は同社振出の小切手で受け取った。

30

9. スーパー元住吉振出の小切手2,000,000円を銀行に預け、当座預金とした。

10. 武蔵小杉屋に、商品を3,000,000円で売上げ、代金は掛とした。

11. 新丸子喫茶店に、商品を1,000,000円で売上げ、代金は同店振出の小切手で受け取った。

12. 網島生豆店から、商品3,000,000円分仕入れ、代金は掛とした。

13. 新丸子喫茶店振出の小切手1,000,000円を銀行に預け、当座預金とした。

14. スーパー元住吉に商品500,000円を売上げ、代金は現金で受け取った。

15. 新規顧客開拓のための出張旅費200,000円を従業員一人に現金で仮払いした。

16. 出張中の従業員から、茅ヶ崎商店振出の700,000円の小切手が送られてきたが、どう
いう入金なのか確認できていない。小切手は、ただちに当座預金とした。

17. 武蔵小杉屋に対する売掛金 2,000,000 円を同店振出の約束手形で回収した。

5 18. 出張中の従業員が戻り、茅ヶ崎商店振出の 700,000 円の小切手は、商品 900,000 円分の注文に対する手付金であったことが判明した。

10 19. 出張から戻った従業員の出張旅費を精算したところ、実際の旅費は 170,000 円であることがわかった。残金 30,000 円は現金で受け取った。

15 20. 実際の手許現金有高を調べてみると、現金勘定残高に 50,000 円不足することが判明した。

20 21. 茅ヶ崎商店に商品 900,000 円分を発送し、代金は手付金 700,000 円と相殺し、残額は掛とした。

25 22. 得意先新丸子喫茶店に 5,000,000 円を融資し、5,000,000 円の小切手を振り出し、同店に手渡した。融資終了時に元利金を受け取る約束である。

23. スーパー元住吉に 4,000,000 円分を売上げ、代金は掛とした。

24. 従業員一人に給料 1,200,000 円分を前貸しし、当社の当座預金から従業員の銀行口座へ振り込んだ。

25. 1 年分の火災保険料として、120,000 円を小切手を振り出して支払った。

26. 先日の現金過不足 50,000 円のうち、40,000 円は、現金払いのガソリン購入 40,000 円相当の記帳漏れであることが判明した。

27. 武蔵小杉屋を名宛人とし、綱島生豆店を指図人とする 1,000,000 円分の為替手形を振り出し、武蔵小杉屋の引受をえた。武蔵小杉屋に対する売掛金 1,000,000 円と綱島生豆店に対する買掛金 1,000,000 円を相殺する。

28. スーパー元住吉に対する売掛金のうち、3,000,000 円を同店振出の約束手形で回収した。

29. 武蔵小杉屋振出の2,000,000円の約束手形の期日が到来し、取引銀行から同額の入金があったとの連絡を受けた。

5

30. 綱島生豆店に対する買掛金1,000,000円を同店を名宛人とする約束手形を振り出して支払った。

10

31. スーパー元住吉振出の3,000,000円の約束手形を金融機関で割り引き、対価として2,750,000円を受け取った。対価はただちに当座預金とする。

15

32. 仕入先綱島生豆店から、10,000,000円の融資を受け、同店振出の同額の小切手を受け取り、ただちに当座預金とした。

20

33. 従業員に給料総計10,000,000円を支払った。うち、1,000,000円を所得税源泉徴収額として控除する。従業員一人に対する給料前貸し分1,200,000円は、給料と相殺した。給料は、当社の当座預金から、従業員の銀行口座へ振り込む。

25

34. 来年度の事務所、商品倉庫、駐車場の賃借料、2,500,000円を小切手を振り出して支払った。

30

問題2 **問題1**の仕訳を付属の総勘定元帳（勘定口座）に転記しなさい。

問題3 期中取引の転記の結果を受けて、決算整理前の合計残高試算表を作成する。付属の合計残高試算表を完成させなさい。

問題4 次のように、決算整理を行なう。決算整理仕訳を行なって、総勘定元帳に転記しなさい。

35. 新丸子喫茶店に対する貸付金5,000,000円は、年利10.95パーセントの条件で、11月1日に貸し付けたものである。元利金は、平成19年10月31日に回収予定であり、金利は11月1日から発生している。金利は日割計算する。なお、平成19年は閏年ではない。

36. 綱島生豆店からの借入金10,000,000円は、年利7.3パーセントの条件で、2月1日に借り入れたものである。元利金は、平成20年1月31日に返済予定であり、金利は2月1日から発生している。金利は日割計算する。なお、平成19年は閏年ではない。

37. すでに支払済みの火災保険料120,000円は、平成19年1月1日から、平成19年12月31日までの期間に対するものである。保険料は、月割計算する。

38. 期末売掛金残高、期末貸付金残高に対して、それぞれ5パーセントの貸倒引当金を設定する。

39. 期末の商品実地棚卸高は、2,500kg あった。当期の仕入数量は5,125kg で、当期の払出数量は2,625kg である。仕入は、単価1,600 円で3,125kg を一回、単価1,500 円で2,000kg を一回であった。当社は先入先出法を採用している。

5

40. 商品の搬送に使用するトラックの減価償却を生産高比例法で行なう。残存価額は10パーセントとする。トラックの総走行可能距離は、200,000km で、当期走行距離は、12,000km である。

10

41. 現金過不足勘定の期末残高については、決算にいたるまで、原因が判明しなかった。

15

20

25

30

問題5

収益と費用の勘定残高を損益勘定に振り替え、損益勘定残高を未処分利益勘定または未処理損失勘定に振り替えた上で、すべての勘定を締め切りなさい。英米式決算法を採用するものとする。

5

10

15

20

25

30

問題 6

決算整理の結果を受けて、繰越試算表を作成する。付属の繰越試算表を完成させなさい。

問題 7

繰越試算表と損益勘定にもとづいて貸借対照表と損益計算書を作成する。付属の貸借対照表と損益計算書を完成させなさい。(一部、勘定科目名がちがっていることに注意すること。貸倒引当金は、売掛金に対するものと貸付金に対するものを区別して記載する。)

5

10

15

20

25

30

sample

sample

sample

sample

sample

現金

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

当座預金

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

受取手形

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

売掛金

貸倒引当金

繰越商品

前払金

前払保険料

未収利息

貸付金

立替金

仮払金

現金過不足

車両運搬具

減価償却累計額

支払手形

買掛金

借入金

未払利息

前受金

預り金

仮受金

資本金

未処分利益

未処理損失

売上

受取利息

仕入

給料

賃借料

貸倒引当金繰入

減価償却費

旅費

燃料費

支払保険料

支払利息

手形売却損

雑損

損益

合計残高試算表

平成19年3月31日

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		
		前払金		
		貸付金		
		立替金		
		仮払金		
		現金過不足		
		車両運搬具		
		支払手形		
		買掛金		
		借入金		
		前受金		
		預り金		
		仮受金		
		資本金		
		売上		
		仕入		
		給料		
		賃借料		
		旅費		
		燃料費		
		支払保険料		
		手形売却損		

繰越試算表

平成19年3月31日

借 方	勘定科目	貸 方
	現 金	
	当 座 預 金	
	売 掛 金	
	貸 倒 引 当 金	
	繰 越 商 品	
	前 払 金	
	前 払 保 険 料	
	未 収 利 息	
	貸 付 金	
	車 両 運 搬 具	
	減 価 償 却 累 計 額	
	支 払 手 形	
	買 掛 金	
	借 入 金	
	未 払 利 息	
	預 り 金	
	資 本 金	
	未 処 理 損 失	

貸借対照表

平成19年3月31日

日吉珈琲株式会社

区 分	金額(円)	構成比(%)
(資産の部)		
I 流動資産		
現金及び預金		
売掛金		
貸倒引当金		
商 品		
前 渡 金		
前払費用		
未収収益		
短期貸付金		
貸倒引当金		
流動資産合計		
II 固定資産		
1 有形固定資産		
車両運搬具		
減価償却累計額		
有形固定資産合計		
固定資産合計		
資産合計		
(負債の部)		
I 流動負債		
支払手形		
買掛金		
短期借入金		
未払費用		
従業員預り金		
流動負債合計		
負債合計		
(資本の部)		
I 資 本 金		
II 利益剰余金		
1 当期末処理損失		
利益剰余金合計		
資本合計		
資本負債合計		

損益計算書

(自平成18年4月1日
至平成19年3月31日)

日吉珈琲株式会社

区 分	金額(円)		百分比(%)
I 売上高			
II 売上原価			
1 当期商品仕入高			
2 商品期末棚卸高			
売上総利益			
III 販売費及び一般管理費			
給料			
賃借料			
貸倒引当金繰入			
減価償却費			
旅費			
燃料費			
支払保険料			
営業損失			
IV 営業外収益			
受取利息			
V 営業外費用			
支払利息			
手形売却損			
雑損			
經常損失			
当期純損失			
当期未処理損失			

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール

共立18.6・P100